

## 第14回 かたの環境を考える委員会の記録

\*日時：平成23年4月22日（金） 18:30～21:30

\*場所：交野市役所 別館3階中会議室

\*テーマ：必要な部会の検討、問題点の洗い出し

18:30 交野市環境保全課長より開会の挨拶。

18:32 本日のナビゲーター：環境市民事務局長 堀孝弘

1. 前回の続きで、必要なグループの検討の続きがなされた。

前回出ていた8つの意見が4つに収束された。

①エネルギー（自然エネルギー、温暖化対策を含む）

②ごみ⇒エコ生活

③自然環境保全（水、川〈水道水・河川も含む〉、里地・里山）

④環境教育⇒全体

⑤まちづくり（交通、まちなかの緑、年をとっても誇りを持って暮らせるコミュニティ、防災と環境、化学物質〈シックハウス〉）

⑥食と農（グリーン・ツーリズムを含む）⇒エコ生活

⑦空間部会（景観、公害〈大気汚染など〉・・・その他の少数意見を吸い上げる部会）⇒全体

⑧ロハス・エコ生活（ライフスタイル、グリーンコンシューマー）

空間部会は、小さな問題、少数意見への対応が主な活動になるとすると、部会とするより、これらの問題は、全体会議の中でどのように扱うか議論した上で、上記のグループで検討していくか、新しいグループを作り対応するか、または、今すぐには対応しないかなど、決定していくことも一案と考えられる。この考え方で対応していくことで同意があり、空間部会は全体会議の機能の中に集約されることになった。

2. 部会という名称について

「グループ」となった。

3. 当日の部会の人数

エネルギー（5名）、自然環境保全（6名）、まちづくり（6名）、エコ生活（7名）

18:50 グループ別に、進行された。

グループ共通の進行は以下のようになっている。

①ファシリテーターの自己紹介

②各自の自己紹介

・自己紹介〔名前のみ簡単に〕

- ・このグループに入ろうとする気持ち、思い。
- ・現在行っている活動について

③今までに洗い出された問題点の確認

これまでに行った学習のワークシートや問題点を記入した模造紙から、どんな問題が洗い出しされたかを確認した。

④改めてどんな問題があったかを洗い出して共有

⑤今後の連絡体制について。

★各グループから出された意見

【自然環境保全グループ】

- ・地場農産物
- ・山の役割を再認識する
- ・竹や木の利用
- ・天の川を綺麗にして、活用したい
- ・里山、ハイキングコースの利用
- ・景観をよくしたい
- ・ほうじの里の景観
- ・交野は「みどり」や「さくら」が美しい
- ・シルバーパワーを活用したい
- ・観光資源を活かす
- ・「環境協力税」を導入して交野で自立する
- ・ハイキングコースは人気なので活用したい
- ・リスや猿もいる
- ・たけのこは盗られる
- ・山つつじやアケビは勝手に切られる
- ・山つつじを切るのは他の木を枯らすため
- ・つばきが多い
- ・きのこでは「ゆうれいだけ」がよくとれる
- ・市民が楽しく山の手入れをできるようにしたい
- ・地産地消のものは辛いもの＝ゆずなんかがいい
- ・伐採は大変なので、ヒノキは枯らしたらいいのでは？
- ・プロがいないと竹を整備するのは難しい
- ・竹林整備などは、山の端からやったらできる
- ・竹を欲しい人ともつ人のつなぎ役がいらない
- ・問題は、森林を伐採できるシルバーたちを活用できていない
- ・急斜面で危ないから一般の人は森に入れない
- ・交通の便が悪く、企業を巻き込めていない
- ・市の山、財産区、個人、地権者ばらばらだから勝手にできない
- ・楽しみながら山に入れる仕組みがない



### 【エネルギーグループ】

- ・水力発電
- ・CO<sub>2</sub>の見える化
- ・雨水利用
- ・エネルギーが遠くから運ばれている
- ・地産地消（海外からの食料が多い）
- ・買いすぎる
- ・もったいない運動
- ・自動車
- ・コンビニ
- ・太陽光発電、太陽熱
- ・家庭の電気
- ・自販機
- ・24時間営業
- ・LED
- ・バイオマス
- ・自転車利用
- ・家電製品の買い替え（情報の提供）
- ・電気とガスの違いが見えない
- ・節電効果 見える化
- ・省エネの自覚
- ・住宅エネルギー効率（ランニングコスト）
- ・企業のコンサルティング



### 【まちづくりグループ】

- ・中心になってくれる人が拡がらない（いろんな経験・知識を持っているはずなのに）
- ・地元の行事にも出てこない
- ・自治会に入らない人も出てきている
- ・（人関連）ひとづくり、きずな、つながり、コミュニケーション
- ・資源を活かしたい（宝の山）自然の宝、農業、観光。
- ・まちのシンボルは？中心はどこ？中心市街地はどこ？
- ・古いまちなみ、まち歩きが楽しい（建物には持ち主がいる）
- ・交野の財産・宝だった古いまちなみ・田園風景がなくなりかけている。
- ・子供が遊ぶ場所、球技
- ・田園風景のあるまちなみづくり
- ・バス路線（利用しやすいものに）
- ・マナーの再確認
- ・歴史文化を地元の人知らない
- ・山一木、竹の利用・活用
- ・地域の催し、名所、まつり



- ・暮らし易い交野＝安全・安心・便利にどうするか？
- ・自然が豊か
- ・どう活性化するか＝交野の文化、ロマンチックな七夕
- ・農産物を売りましょう・・・市場をつくる
- ・農の利用といっても、農家との信頼関係が必要（ぶどう園、田んぼ、休耕田）
- ・今ある財産（経験・体験・知恵）の活用できていない
- ・道路をきれいに
- ・バス（ゆうゆうバス）
- ・自転車で走れる道
- ・自動車をどうする？
- ・山一風景、里地里山、ハイカーとの共存や交流（ハイキングコースをどう活用するか）
- ・金がない、産業がない―創っていく。交野にあったらいい産業って何？
- ・農は宝を創ってゆく。
- ・手段として、おまつり、イベント、ボランティア（かかわれる仕組み、交わる楽しさ。場づくり、仕組づくり）
- ・受け入れる体制・形にはなっていない。
- ・あるがままの姿の交野が好き。（産業に固執することはない）
- ・交野の宝、集めてまち。
- ・交野のまち、新たにつくる。

#### 【エコ生活グループ】

- ・地域清掃など。
- ・環境教育。
- ・畑でエコ生活へ。畑する人増えたら。
- ・花壇ボランティアで。
- ・子供たちが未来にどうかかわるか？暮らしに影響。
- ・新しくできる焼却場で生ごみを堆肥化するところをつくりたい。
- ・雨水
- ・リフォーム（マスクなど）
- ・暮らしぶり、食、一人ひとりが取り組まなくては。
- ・エコエコ地球館。
- ・食、水―農業
- ・生ごみの堆肥化。小学校の給食、堆肥化できれば、環境教育になる。



21:30 終了